

第4回「千年未来塾」開催概要

1. 趣旨

第4回は、「世界で活躍する人を宇陀に呼ぼう！」をテーマに開催した。今後宇陀市へ招聘を予定しているゲストごとに市民チームを編成し、それぞれの専門性や経験を生かした講演会やワークショップ等の企画について意見交換を行った。単なる講演会ではなく、市民とゲストが協働して地域課題や新たな可能性について考え、継続的なプロジェクトへ発展させることを目指し、具体的な企画づくりを進めた。

2. 開催概要

日時：令和8年6月7日（日）13:00～15:00

会場：農と学びの共創拠点「VUTAI」

参加者：市民、中高生、事業者、行政関係者、議員等

主な登壇者：

藤田 浩之氏（QED 創業者・最高経営責任者）

宇陀市 金剛市長

David Janes 氏（国際文化会館 在米担当責任者）※オンライン

Evan Soll 氏（起業家、ロサンゼルスを拠点に日米・草の根交流を推進）※オンライン

甲賀 晶子氏（奈良県庁・元宇陀市職員）



3. 藤田 浩之氏より開催趣旨説明

藤田氏より、千年未来塾において世界で活躍する専門家を宇陀市へ招く目的や、本取組の考え方について説明があった。

（1）市民主体の実践型プロジェクト

宇陀市の1000年先を見据えた持続可能な地域づくりに向け、市民自身が「当事者」となり、世界で活躍する専門家とともにイベントやプロジェクトを企画・実践していく。

（2）「講演会」ではなく「対話と実践の場」

知識を得るだけで終わる受講型の講演会ではなく、市民が主体となって対話を重ね、自ら地域に変化を生み出していく場を目指す。

（3）「化学反応」の創出

職業・年齢・国籍など異なるバックグラウンドを持つ人々が交流することで、思いがけないアイデアやイノベーションが生まれる「化学反応」を大切にする。



（4）ギブ&ギブの精神

ゲスト、市民ともにボランティアとして参加し、お互いを尊重しながら熱意を持って学び合い、より良い地域づくりにつなげていく。

4. ゲストからのメッセージ

(1) David Janes 氏（国際文化会館 在米担当責任者）※オンライン

ニューヨークからオンラインで参加。前日に著書『ジョン・D・ロックフェラー 3 世』を出版したことを紹介するとともに、ロックフェラー三世の思想を踏まえ、1000 年先を見据えた地域づくりに必要な考え方として、次の 6 つの視点を紹介した。

① 長期思考

20 年、50 年ではなく、1000 年先を見据えた持続可能な視点を持つことが重要である。

② リスクテイク

イノベーションには挑戦が不可欠であり、失敗を恐れず新しい取組に挑戦する姿勢が未来を切り拓く。

③ ポジティブ思考

戦後復興期のような困難な時代においても、前向きなビジョンが社会の発展を支えてきた。未来を切り拓くためには、常に前向きな姿勢が重要である。

④ 他文化の尊重

異文化や異なる価値観を持つ人々との交流や対話から学ぶことで、新たな価値や発想が生まれる。

⑤ 一人ひとりの意思と行動

未来を形づくるのは組織だけではなく、一人ひとりの情熱と主体的な行動である。

⑥ 歴史と地域文化の理解

地域の歴史や文化の根底にある価値を理解し、それらを未来へ受け継いでいくことが重要である。

(2) Evan Soll 氏（起業家、ロサンゼルスを拠点に日米・草の根交流を推進）※オンライン

日本とアメリカをつなぐ起業家として活動する立場から、地方の持続可能性について、国や文化が 1000 年単位で存続するためには、東京や大阪などの大都市だけでなく、地方地域が活力を持ち続けることが不可欠である。また、京都府綾部市や宇陀市のような地域こそ、日本の魅力や文化を世界へ発信できる可能性を持っており、「日本＝宇陀」と認識されるような地域ブランドを育てていくことが大切である。

5. 甲賀晶子氏より第 1 回～第 3 回の振り返り

甲賀氏より、これまで開催した千年未来塾の歩みと、第 4 回へつながる経緯について説明があった。

(1) 第 1 回（宇陀市制 20 周年記念）

宇陀市の自然・歴史・文化・食といった地域資源の魅力と、人口減少や少子高齢化など地域が抱える課題について共有した。また、中高生をはじめとする若い世代からも「地域の未来について考えたい」という前向きな声があり、多世代で対話する場の必要性を確認した。



(2) 第 2 回

「挑戦」をテーマに、小さく始めることの大切さや、失敗を許容する文化の重要性について意見交換を行った。また、異なる立場や分野の人が交わることで新しい価値が生まれる「化学反応」の重要性について参加者全員で共有した。

(3) 第3回

藤田氏が推薦いただいた、宇陀市へ招聘するゲストごとに市民チームを編成し、市民が主体となって講演会やワークショップ等を企画・運営する提案いただいた。受け身で参加する場ではなく、市民自身が企画し実践するフェーズへ進んだことを共有した。

6. 各チームによる企画発表

(1) 嘉数 悠子氏[天文学者・ハワイすばる望遠鏡アウトリーチスペシャリスト]

【ゲスト紹介】

嘉数氏は、ハワイ・すばる望遠鏡でアウトリーチスペシャリストとして活動する天文学者である。宇宙研究だけでなく、科学の楽しさを伝える教育活動や、女性・子どもたちの理系分野への挑戦を後押しするキャリア支援にも積極的に取り組んでいる。

【イベント企画（案）】

・7月18日にイベントを実施する。

・第1部 講演会

すばる望遠鏡が捉えた最新の宇宙映像の上映、宇宙研究や天文学の魅力を分かりやすく紹介

・第2部 女性のキャリア座談会

「女性として世界で働くこと」、「好きを仕事にすること」をテーマに、中高生、保護者、一般参加者との対話を行う。

・第3部 体験型ワークショップ・星空観察

ダンボールやペットボトル等を活用した手作り望遠鏡（又は観察キット）の製作、製作した望遠鏡や本物の望遠鏡を使った星空観察会

・会場（案）

第1・2部：榛原総合センター

第3部：平成榛原子どものもり公園

・主な検討事項

「夏休みキッズフェス」との連携

夏休みの自由研究につながる内容の検討

雨天時は室内で宇宙映像上映や工作を実施

教育委員会・学校を通じた広報



(2) ニコラス・ラスカム氏 [ゲノム遺伝子研究者]

【ゲスト紹介】

父がイギリス人、母が日本人のゲノム研究者。生命科学を専門とする一方、薬草や自然、食文化にも深い関心を持ち、地域資源を活用した学びにも取り組んでいる。令和8年7月から9月頃の来訪を予定している。

【イベント企画（案）】

・講演案

生命科学・ゲノム講座、DNA・遺伝子とは何か、遺伝子研究が私たちの生活にどのように役立つか

・体験型ワークショップ

酵母を活用した実験、命の仕組みを体感できるプログラム、地元食材や薬草を活用した料理体験

（３）水谷 桂一朗氏【米州法人営業部 三菱 UFJ 銀行 シカゴ支店長】

【ゲスト紹介】

2026 年 3 月より米国三菱 UFJ 銀行シカゴ支店長を務める。三菱 UFJ 銀行が掲げる重点施策の一つが地方創生。令和 8 年 10 月から 12 月頃の来訪を予定している。

【イベント企画（案）】

- ・宇陀市が抱える少子化や学校統合などの課題について共有し、アメリカの地方都市との比較を通して地域の未来について考えるプログラム
- ・アメリカにおける地方創生や失敗事例



（４）松原 都氏【M-Square 創業者・起業家支援】

【ゲスト紹介】

シカゴで M-Square を創業し、日本企業の海外進出支援や起業家支援に取り組む。山一証券破綻後、多くの日本企業の現地進出を支援してきた経験を持つ。令和 8 年 9 月中旬から 10 月下旬頃の来訪を予定している。

【イベント企画（案）】

- ・中学生職場体験の充実を松原氏と考える。（現在の職場体験が「作業体験」に留まることなく、子どもの将来の進路や人生観につながる学びとなるよう内容の充実を図る）
- ・受入企業への事前の学びになる講演（地域全体で子どもを育てるという意識醸成）

（５）小松 美羽氏【画家・アーティスト】

【ゲスト紹介】

長野県出身・在住の現代アーティスト。山犬や狢犬など神獣をモチーフとした作品で国内外から高い評価を受けている。自然や生命とのつながりをテーマに制作活動を行い、日本文化や精神性を世界へ発信している。



【イベント企画（案）】

- ・室生寺紅葉ライトアップと連携したアートイベント
- ・老朽化した建物や地域資源を活用したライブペインティング
- ・イベント当日だけで終わるのではなく、制作した作品や壁画を地域に残し、子どもたちの思い出や新たな地域資源・観光資源として活用していくことを目指す。

（６）河野 勉氏 [元国連職員・軍縮専門家]

【ゲスト紹介】

国連軍縮部門などで長年にわたり国際平和や外交に携わってきた専門家。世界各国での経験を生かし、平和や国際理解について分かりやすく伝える活動を行っている。

【イベント企画（案）】

- ・子ども向け平和学習、カードゲーム等を活用した体験型ワークショップ
- ・国際問題や平和について考える対話イベント
- ・宇陀市議会議場を活用した子ども模擬議会

（７）水谷 友重氏[TOYO TIRE 株式会社 専務執行役員]

【ゲスト紹介】

ニットータイヤ U.S.A.（東洋タイヤブランド）の名誉会長および常勤顧問を務め、米国タイヤ業界における最高の榮譽の一つである「タイヤ業界の殿堂入り」を果たした。長年にわたり世界市場で事業を展開し、日本企業のグローバル化を牽引してきた。

【イベント企画（案）】

- ・クラシックカー・スーパーカーの展示及びパレード
- ・自動車を通じたものづくり教育、機械工学やデザインの魅力を学ぶ体験
- ・起業家精神やチャレンジ精神を育む学習プログラム

（８）ヴァスコ・ヴァッシレフ氏 [ヴァイオリニスト]

【ゲスト紹介】

ブルガリア出身のヴァイオリニスト・指揮者。世界各国で演奏活動を行うとともに、子どもたちを対象とした音楽教育やワークショップにも積極的に取り組んでいる。

（９）井植 美奈子氏 [海洋環境保護 NGO 日本法人理事長]

【ゲスト紹介】

海洋環境保護に取り組む NGO 日本法人の理事長を務める。環境保全活動や持続可能な社会づくりに取り組むほか、三洋電機創業家の一員として幅広いネットワークを持つ。

（１０）本庄 洋介氏[北米伊藤園代表取締役社長兼 CEO]

【ゲスト紹介】

北米伊藤園代表取締役社長兼 CEO。アメリカ市場において日本茶ブランドの普及を推進し、大谷翔平選手とのブランドアンバサダー契約などマーケティング戦略を展開している。藤田浩之氏とは同世代であり、『日経ビジネス』の「世界で活躍する 100 人」にともに選出された。



【イベント企画（案）】

- ・アメリカ市場で日本茶を広めてきた挑戦の軌跡、海外市場におけるマーケティング戦略
- ・日本茶や宇陀の薬草を活用したワークショップ
- ・起業家精神を学ぶ講演・対話

（11）デニス・ヨシト・テラニシ氏 [米国日系人コミュニティリーダー]

【ゲスト紹介】

米国日系人コミュニティのリーダーとして活動し、日米協会などを通じて日米交流に尽力している。また、第二次世界大戦中の日系人強制収容の歴史や、ダニエル・イノウエ上院議員との交流など、多くの歴史的経験を持つ。

7. 全体討論・今後のアクション

各チームによる発表後、今後の進め方について全体で意見交換を行い、次の方向性を共有した。

（1）イベントから継続的なプロジェクトへ

単発のイベントとして終わらせるのではなく、参加した子どもや大人の学びや気づきを地域活動や新たなプロジェクトへ発展させ、継続的な取組につなげていく。

（2）学校・教育委員会との連携

学校でのチラシ配布や職場体験、校外学習など教育活動との連携を進めるため、早い段階から教育委員会や学校との調整を進める。

（3）ゲストの受入体制

遠方からボランティアで参加いただくゲストに対し、市民が主体となって心のこもったおもてなしを行い、交流を深めることで、双方にとって実りある機会とする。

（4）企画の具体化

各チームでミーティングを重ね、開催日時、会場、対象者、役割分担、予算などを整理し、具体的な企画書として取りまとめる。

（5）情報共有

チームごとに LINE グループ等を活用しながら検討を進め、今後の千年未来塾において各チームの進捗状況を共有することを確認した。